

# HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULIETIN

No.22

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪3F  
事 務 局 東大阪市小阪本町1丁目5-14  
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号  
TEL: 06-6753-8823  
FAX: 06-6753-8826  
E-mail: jahcrc@gmail.com



会 長 宮 田 照 男  
会 長 ノ ミ ニ ー 金 子 勝 信  
副 会 長 岩 崎 史 郎  
幹 事 岩 橋 竜 介  
会 報 委 員 長 伊 藤 雄 一

## ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017~2018 年度 国際ロータリー会長 イアン H. S. ライズリー

第 2076 回例会 平成 30 年 2 月 5 日 (月曜日) 第 22 号

**本日の例会** 2月5日(月) 第1例会  
◎ソング 『それこそロータリー』  
◎卓 話 『原子力発電所の安全対策について』  
担当：佐藤三千秋会員  
◎本日の献立 軽食ワンプレート

**次回の例会** 2月26日(月) 第2例会  
東大阪西ロータリークラブとの合同例会  
食事 18:00~ 例会 18:30~

**前回の例会** 1月29日(月) 第3例会  
◎ゲスト 澤田医院 院長 澤田 宗久様  
**会長挨拶** 宮田 照男 会長

みなさん こんにちは

本日はゲストスピーカーに大阪船場ロータリークラブより、澤田歯科院長澤田 宗久様にお越し頂いております。卓話を後ほど宜しくお願い致します。

先週は近年にない強烈寒波が日本をおおい、大雪による被害が色々なところであり、大阪でも大変、寒い日が続いております。そんな寒い日にもかかわらず、故瀧田会員のお別れ会にはたくさんの方が参加されました。また、当クラブの会員の皆様も早くから多数ご参列、頂きましたこと、まことに有難うございました。退会された会員の方も来られており、皆さんともなつかしくお話などもされていましたが、異口同音にでるのが「大変、残念なこと」とのことばで、皆さんの思いは同じでありました。

今月は職業奉仕月間であります。ひと昔前は、「ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」とあり、つまりはロータリアンは、自らの職業を通じて、尊重される存在になってこそ社会に奉仕する機会もある考えです。が、世の中は日進月歩、いやや

進分歩で変化しております。IT化、AI、ビットコインなど何の事やらさっぱりわかりません。しかし変化に対応し、各自の職業を社会のニーズを満たせるよう向上させ、職業奉仕に努めたいものです。

### 表彰

#### 米山功労賞

鈴木勝俊会員 第4回 米山功労者

#### ロータリー財団

宮田照男会員 ポール・ハリス・フェロー+3

細川勝治会員 ポールハリス・フェロー

### 幹事報告

岩橋 竜介 幹事

1. 次週例会終了後、第8回定例理事役員会を5階「フリーズ」の間にて開催いたします。皆様にはよろしくお願いいたします。
2. 3日に開催されます地区補助金管理セミナーには金子会長エレクト、佐井会長ノミニ、尾崎次年度幹事、岡本社会奉仕委員長に出席していただきます。よろしくお願いいたします。

### 出席報告

金子 委員

本日の会員数	19名
本日の出席者数	18名
本日の出席規定適用免除会員	8名
本日の出席率	100%
1月15日の修正出席率	94.44%

### ニコニコ箱報告

SAA 尾崎 元

尾崎会員 インフルエンザ流行中です。うがい、手洗い忘れずに。  
中村会員 皆様寒さ日が続いていますが、体調など崩しませぬよう、ご自愛下さいませ。

## 【国際奉仕活動にける想い】

私の国際奉仕活動は、約35年前からバヌアツ共和国から始まり、それに平行致しまして、フィリピン共和国へは、約22年前より年間約3回～4回の歯科医療奉仕活動を行っています。

良く尋ねられる質問に「何でお前はそこまでしてバヌアツに行くのだ？」と。

私のボランティアを始めたきっかけのキーワードは「生かされし我が人生に感謝！」です。

私は、子どもの頃から何度か九死に一生を得るような危険な事故に遭いました。極めつけは、歯科医をめざしている学生時代に頸椎脱臼骨折という大事故に遭い、病院のベッドの上で「何で僕だけこんなつらい目に遭うのか・・・」と、その時『お前はここで死んだらアカン、この世の中にやることあるから生きろ！』と、神の慶事を聞きました。手脚がしびれ、痙攣を起こし生死の狭間で自分の生きる意味を考えました、医者という者は何でしょうか？「世のため、人のために尽くすと言うことが本来の医者の姿である」と言うことを自分はベッドの上で悟らせて頂きました。

自分が後遺症も無く動けるようになり、開業させて頂くようになって、1983年バヌアツ共和国が独立して間もない時から活動を始めました。

奉仕というのは、いやいやするものではありません。楽しんで行う事が本来の奉仕の姿であると、私は思っております。ボランティアには4つの原則があります。

- ① 自ら進んで行動すること。
- ② 共に支え合い学ぶこと。
- ③ 見返りを求めないこと。
- ④ より良い社会をつくること。

この4つの原則がボランティアの活動の活力です。まさしくロータリーの精神と似通っております。

2003年にNPO法人ジャパン・デンタル・ミッション(JDM)を設立し、現在では約200名の会員と多くの賛同して下さる有志で活動を行っております。

JDMの活動方針としては、

- ① 無償の歯科医療活動
  - ② 海外の子ども達と日本の子ども達との文化交流
  - ③ 現地の生活の質の向上の為の支援活動
  - ④ 日本の青少年の育成です。
- ①については、現地のラナケル病院や公民館を拠点に日本から持参した歯科医療機材で虫歯や歯周病治療を行い、現地の小学校や幼稚園、中学校に於いて歯磨き指導や健診などを行っています。

②は11年前から関わっています南山本小学校、西山本小学校、竹淵小学校で道徳の授業を学期ごとに外部教員としてやらせて頂いております。

ボランティア活動を通じて、本当の幸せとは何か、生きるとは？愛とは？と言った話を子ども達とします。授業の後は給食も一緒に頂いてコミュニケーションをはかります。バヌアツのラナケル小学校や、フィリ

ンのカオハガン小学校の生徒達の描いた絵画やカルタ、鯉のぼり、羽子板、福笑いなどなどを日本の子ども達の描いた物と交換しあい、文化や習慣を学び合う架け橋となっています。

③については、現地の口腔衛生啓蒙指導といたしまして、学校の先生や看護師、医師などを集めてオーラルヘルスケアのレクチャーをやっています。より多くのセラピストを育てる事が重要と考えています。又、御寄付として頂いた歯ブラシ、エンピツ、運動具、タオル、子ども服などを手から手へと手渡しします。

④の青少年育成についてですが、今までに医療従事者ばかりではなく、沢山のボランティアの方々に活動に参加して頂き、下は小学校4年生から中学生、高校生、大学生、社会人まで、自ら希望されて参加の場合もあれば、親御さんから託される場合もあります、引きこもりや不登校の子どもさんもおりました、活動を終えて医者や歯科医をめざし、みごと合格したと言う嬉しい知らせもあります。現地での仕事は自分で探すものであります。私は常に役割は決めません、子ども自ら考え行動に移すまで見守ります。現地では子ども達の目は輝き始め、活発に行動し始め、現地の子どもの達と友情もできます。

私が以前基調講演をさせて頂いた時に、参加してくれた生徒を連れて行きまして、10分間皆様の前でボランティアとして参加した作文を読ませました。その時にご両親も黙って招待しました。

作文を読み終えた子ども達を見て、ご両親は「家では何を話しても『別に』としか言わない子ども達が、一生懸命皆さんの前で、これだけ熱心に喋るとはどうゆうことですか、行かせて良かった！」と言って泣いておられました。

ボランティアは自ら進んで社会事業などに無償で参加する事を言います。また、奉仕と言うのは、「謹んで仕える」献身的国家、社会の為に尽くすことであります。ボランティアの重要な事は、「かきくけこ」で表現できます。「か」感謝、「き」気配り、「く」工夫、「け」健康、「こ」行動です。奉仕とは、give and giveです give and takeではありません。決して見返りを求めない事であり、無償の愛であります。

ロータリーには、4つのテストと言うものがあります。素晴らしいスピリッツです。

「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなの為になるかどうか」と言うことですね。この4つのテストを忠実に守ることが、本来のロータリアンの姿ではないでしょうか。

このように、我々の活動は歯科医療を通じて、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕であります。この4つの奉仕活動が正に、ロータリアンの精神だと確信しております。

この精神は「人類愛」です。愛とは行動です。これからも、このロータリーの精神に則して一生懸命頑張っ

